

13th 奥村記念館コンサート

Okumura Commemorative Museum Concert



後援：奈良県

2014年 **11月23日** (日) 14:30開演 入場無料

曲目

- ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第10番 変ホ長調 Op. 74 「ハーブ」
- ハイドン 弦楽四重奏曲第67番 ニ長調 Op. 64-5 「ひばり」
- モーツァルト 弦楽セレナード ト長調 K. 525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

演奏 アンサンブルシヴィル

1stヴァイオリン：鈴木 裕 (名鉄タクシーホールディングス株式会社、名古屋鉄道株式会社から出向)
2ndヴァイオリン：原 文人 (近鉄車両エンジニアリング株式会社、近畿日本鉄道株式会社から出向)
ヴィオラ：大橋 康廣 (フリーランサー、元東急建設株式会社)
チェロ：内藤 博行 (近畿日本鉄道株式会社)

アンサンブルシヴィル

アンサンブルシヴィルは土木技術者13名からなる弦楽合奏団です。

1994年の土木学会創立80周年記念式典で演奏するにあたり、学会員の公募により1993年12月に結成され、以来21年間、土木学会ほか土木関係の行事を中心に演奏活動を行っています。本年2014年は土木学会創立100周年にあたり、11月21日に開催される記念式典での演奏が予定されています。

1995年には英国土木学会ICEに招致されロンドン公演を実現したほか、2007年10月には韓国土木学会KSCEから招致され、首席奏者によるカルテットが韓国土木学会全国大会に参加し、同学会の合唱団であるシヴィル・ハーモニーと共演するなど、海外の音楽を愛する土木技術者との交流も積極的に行っています。また、2009年には沖縄と山梨県北杜市、2010年には湯布院と福岡市にて自主公演を行い、2010年2月には「みなとみらいアマチュア室内楽フェスティバル2010」で演奏するなど一般市民との交流も行っています。

メンバーは全国各地に散らばっており、職場も違います。普段は地元のオーケストラや弦楽合奏団に所属して演奏活動しており、シヴィルのメンバーが揃って練習するのは、年に2回の合宿と、演奏会本番当日だけです。しかし、メンバーは土木技術者という共通の糸で結ばれており、いざ演奏となればコンサートマスターを中心にすぐにまとめることができます。土木とアンサンブルとは一見似ても似つかないように見えますが、構成員みんなが自分に課せられた役割を認識し力を合わせることによって、はじめて良い物を作り上げることができる点で、共通点が多いと思っています。



奥村記念館



株式会社奥村組の創業100周年を記念して2007年4月にオープンしました。観光案内所として、休憩所として観光客の皆様や地元の皆様にご利用いただくとともに、免震関係の技術と奥村組の歴史を展示しています。開館から丸7年の今年4月には、ご来館いただいた方が100万人になりました。

住所 奈良市春日野町4番地

TEL 0742-26-5112

